

単純性股関節炎

単純性股関節炎とは

原因はまだ分からないのですが、一般的に言われているのが風邪などのウイルス性感染症にかかった後に、発症しやすいと言われています。

通常 1 週間ほどで完治することがほとんどですが、発症時、歩けないぐらい痛みがある子もいます。

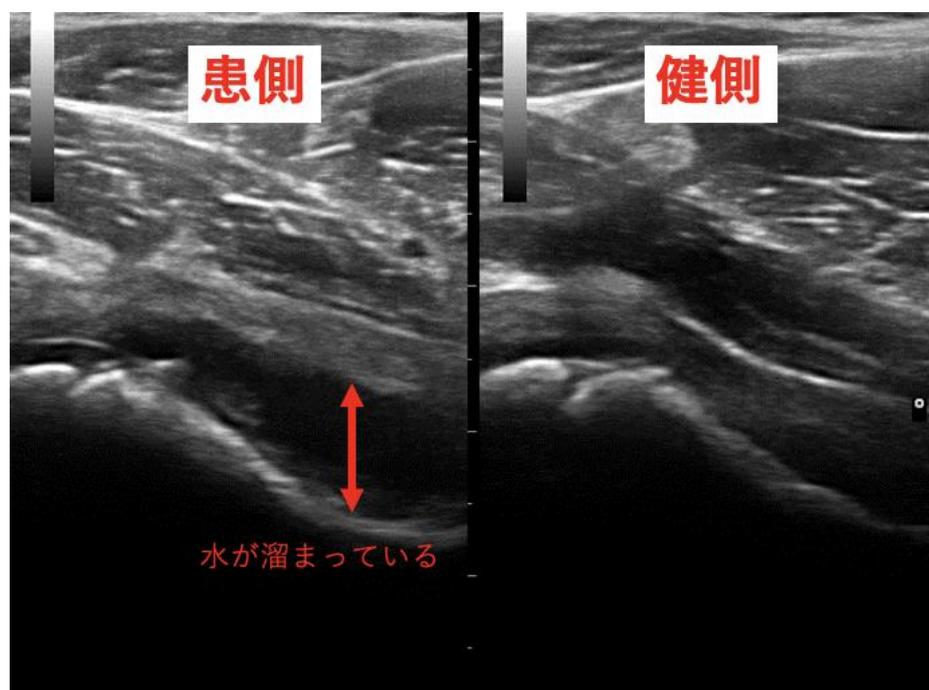
好発年齢は？

発症する年齢は 4～6 歳ぐらいに多く見られ、男の子に多いと言われています。

どうやって評価するの？

若田接骨院では超音波観察装置を用いて評価いたします。

水腫の存在・状態などなど多角的に評価していきます。



治療はどうやってやるの？

基本安静で、経過観察を慎重に行います。通常1週間で完治しますが、経過次第では精密検査をしていただくために提携している整形外科に対診していただきます。

ペルテス病といい、股関節の骨が壊死していく病気があります。

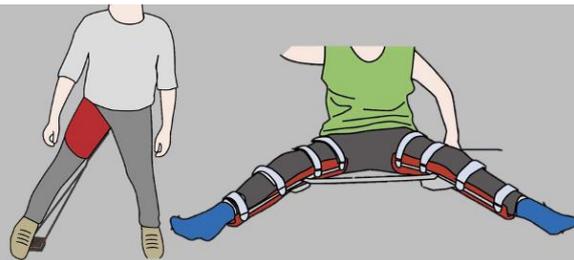
成人後に変形など後遺症を残す場合があります、手術になる可能性があります。

単純性股関節炎とペルテス病はよく似た症状を呈しますので鑑別が必要です。

ペルテス病とは

日本整形外科学会参照

5歳～7歳の男子に多く
大腿骨頭骨端部が壊死する病気です
原因は不明で完治には2～3年かかります



ペルテス病の治療の目的は
成人になっても痛みが生じない、変形性股関節症
に進行せず日常生活が送れることにあります

高学年・重篤化
は手術適応

手術療法（入院期間は約1～2ヶ月）
保存療法（装具装着期間は約1年）



子供の股関節痛で一番怖いのが「ペルテス病」です。ペルテス病において接骨院では治療は完結することはできませんが、治療の入り口として、お力になれると思いますので、ご相談くださいませ